

小学校 第5学年「体育科」シラバス

体育科の領域構成

次の7領域です

- 体づくり運動
- 器械運動
- 陸上運動
- 水泳
- ボール運動
- 表現運動
- 保健

5年生の目標

- 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け体力を高める。
- 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、事故の最善を尽くして運動する態度を育てる。
- けがの防止、心の健康及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

★評価の観点

<運動領域>

- ① (運動への関心・意欲・態度)
 - ・進んで運動の楽しさや喜びを求めるとともに協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意して運動しようとする。
 - 行動観察・学習カード
- ② (運動についての思考・判断)
 - ・自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫している。
 - 行動観察・学習カード
- ③ (運動の技能)
 - ・運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
 - 行動観察・学習カード・計測

<保健領域>

- ① (健康・安全への関心・意欲・態度)
 - ・心の健康やけがの防止について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。
 - 行動観察・ワークシート
- ② (健康・安全についての思考・判断)
 - ・心の健康やけがの防止について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。
 - 行動観察・ワークシート・テスト
- ③ (健康・安全についての知識・理解)
 - ・心の健康やけがの防止について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
 - 行動観察・ワークシート・テスト

	学習する単元の名称	主な学習内容
前 期	・短距離走 ・リレー	<ul style="list-style-type: none"> ・50M走やリレーを行い、学習の見通しを持ち、自分の目指す記録を設定をします。 ・友達やチーム等で教え合いながら短距離走やリレーを行います。 ・表したいものをイメージして体を使って表現します。 ・けがや事故の体験を想起し、その原因について考え、理解します。 ・記録の向上を目指して課題を設定し、練習します。 ・ペアやグループなどで体を動かしたり心地よい運動を行ったりします。 ・生活の中から交通事故につながりそうな危険について考えます。 ・自分の能力に適した課題作り、クロールや平泳ぎの練習をします。 ・記録会をします。
	・表現 ・けがの防止 ・走り幅跳び ・体ほぐし ・けがの防止 ・水泳	
後 期	・鉄棒・マット・跳び箱 ・ティーボール ・体ほぐし ・なわとび・持久走	<ul style="list-style-type: none"> ・今できる技を確かめ、できそうな技に挑戦します。 ・ティーボールの技術を身につけ、ルールを工夫したり、簡単な作戦を立てたりしてゲームを行います。 ・ペアやグループなどで体を動かしたり心地よい運動を行ったりします。 ・一人・ペアなど様々な技に取り組みます。 ・3~5分間走り続け自分のペースを捉えます。 ・ゲームを行い、自分の課題を見つけます。 ・基本的な技能(打つ、はじく)を高める練習をします。 ・作戦を工夫してゲームをします。
	・バスケットボール ・サッカー ・なわとび ・体力を高める運動 ・心の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルやシュートなどの基本的な技能を高める練習をします。 ・試しのゲームを行い、自分の課題を見つけます。 ・簡単なルールで攻め方や守り方を工夫してゲームをします。 ・一人、ペアなど様々な技に取り組みます。 ・自分の体の状態に気付き、体力を高める運動を行います。 ・心はいろいろな生活経験を通して発達することを考えます。 ・人とうまくつきあっていくには、相手の気持ちを理解しながら自分の意見を言うことが大切であることを考えます。 ・心と体は密接に関係していることを考えます。 ・不安になったり悩んだりした経験を思い出し、対処法を考えます。